

## 第1回 大野町小中学校のあり方外部検討委員会 議事概要

- 1 日時 : 令和6年11月13日(水) 午後3時00分～午後5時00分
- 2 場所 : 大野町役場3階 委員会室
- 3 出席委員(敬称略) : 学識経験者2名、有識者1名、保護者代表3名、  
地域代表6名、学校代表1名、子ども園代表1名

### 4 議事の概要

#### ○あいさつ

- ・町長によるあいさつ、各委員・事務局の紹介を行った。

#### ○委員長及び副委員長選出

- ・互選により、益川委員を委員長、原委員を副委員長として選任した。

#### ○諮問

- ・町長より、益川委員長に諮問書を手交した。

#### ○協議事項(1) 児童生徒数の推移・推計について

- ・事務局より、児童・生徒の減少の傾向と今後の推移について説明した。

##### 【意見・質疑応答】

- ・昨年度に示された推計から数字が変わっているがなぜか。  
⇒毎年、最新の出生数に人口問題研究所が出している全国の出生数のトレンドを反映し推計をし直しています。(事務局)
- ・大野町に似た人口規模や環境の市町村の現状を確認することはできますか。他市町の事例も確認した上で議論するのが良いと考えています。  
⇒面積や人口規模、環境については、似た市町村がなかなか無いため推計については全国的なトレンドを用いています。(事務局)
- ⇒参考にできるような他市町村の事例がありましたら、今後資料としてお示しいただければと思います。(委員長)

#### ○協議事項(2) 全体・R6スケジュールについて

- ・事務局より、小中学校のあり方検討等に係るスケジュールについて説明した。

##### 【意見・質疑応答】

- ・オンデマンド配信について詳しく教えてほしい。  
⇒あらかじめ作成した説明動画をYouTubeで配信予定。視聴者の都合に合わせて視聴できるためオンデマンド配信を採用しました。(事務局)

- ・若い世代に関心を持って頂くことが重要で、非常に良い取り組みである。
  - ・多くの方が他人事であり、議論になっていないと考えている。令和13年度に親の立場で当事者となり得る高校生あたりに意見を聞くことや、地域で議論進めることなどが重要ではないでしょうか。相互に議論できる場があると良いと考えます。
- ⇒皆様には、各コミュニティの代表として来ていただいています。オンデマンド配信やウェブ上での意見聴取にて議論しきれないところは、是非、委員の皆さまに各コミュニティで意見を吸い上げていただき、この場で議論ができればよいと考えています。また、高校生にも配信を見ていただけたらと思っており、様々な年代の方の意見を集約できるようなことを今後も考えていきたい。（事務局）
- ・本日資料の町民等の意見では、昨年度まではなかった意見が見られ、少しずつ広がっていると感じ、是非続けてほしい。

### ○協議事項（3）町民等の意見について

- ・事務局より、広報の掲載内容に対して寄せられた町民等の意見について説明した。
- 【意見・質疑応答】
- ・寄せられた意見を見ると統合は仕方がないと感じているが、通学に対する不安があるといった意見が多い。通学面では負担のかからないように議論していることを示した方が良いのでは。
- ⇒過去の委員会でも通学方法についての意見はあり、今回の検討でも通学距離を評価の基準として示しています。具体的な方策としてスクールバスの運用などを視野に入れていますが、体力低下の懸念の声もあります。これらも踏まえ、通学方法について一つの方向性を見出し、基本方針として定めるためにも皆様のご意見を頂きたいと思っています。（事務局）

### ○協議事項（4）学校規模適正化基本方針について

- ・事務局より、学校規模適正化基本方針の骨子および検討内容について説明し、その内容を以て委員会で検討していくこと、町民に意見聴取することの了承を得た。
- 【意見・質疑応答】
- ・前年度の委員会では基本的なことはできるだけ早く決めた方がよいという意見がでた。町民の意見にも同様な意見が見られる。現在はハード面の議論が多いが、大野町の特色や魅力を生かした教育・学校づくりのため、ソフト面の議論も進めるべきではないか。
- ⇒小学校数で教育環境が大きく異なります。例えば教科担任制を進めるためには学校の中の教師の数が多く必要であり、学校数によって実施できる教育環境も大きく変わります。そのため、学校数をいち早く決定し、その先にソフト面の議論を詰めていければと思います。（事務局）

- ・持続可能性を考えた際に、10年後20年後にまた単学級になってしまうような結論は出たくありません。検討資料のAと評価されたパターンを中核に捉えたハードに関する議論と教育の本質に関する議論を同時に進めていくにはどうしたら良いのか事務局に精査していただければと思います。

⇒ハードを絞り込みながら、同時に教育の中身についても議論を進めていければ良いと考えます。（委員長）

- ・基本方針において再編の方向性をどのように示していくのか。

⇒学校数などの基本的な統廃合の方針を示した上で、スクールバスの導入や教科担任制、英語教育、地域による教育等についてどのように検討していくのかなどを最後のまとめに記すといったことを想定しており、そのまとめのために町が現在検討している内容を資料4-2の検討資料に示し、この資料に基づいて意見を伺いたいと思っています。（事務局）

⇒前年度の答申では望ましい教育について提言し、それを実現するために再編成を考えていくべきであると示しました。その後、町民への周知を進めており、今後もより多くの意見を吸い上げるにあたり、町の考えを示したものが資料4-2ということではないでしょうか。（副委員長）

- ・案1が良いと思います。大野町の強みは地域の教育力です。案1の場合でも努力次第で持続できると考えます。

## ○その他

- ・学校規模適正化基本方針の策定に向け、本日了承を得た内容を基に町HPやオンデマンド配信にて掲示し、幅広く意見を聴取する予定とする。

以 上